

はじめてませんか? 健康経営®

「健康経営®」とは?

経営者が職場環境や従業員の健康に配慮して、健康投資を行うことで、従業員と一緒に健康の維持や増進に取り組むことで会社の活性化やイメージ、業績を向上させていく取り組みです。健康経営®に取り組むことが、従業員の健康を増進するだけでなく、企業関係や求職者からの評価にもつながります。

※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営®の第一歩として「健康企業宣言」をしてみませんか!

健康経営®の第一歩として、事業主の皆さまは「企業全体で健康づくりに取り組む」ことを宣言します。宣言後の具体的な取組みは健保組合がサポートします。また、取組みにより一定の成果を上げた場合は「健康経営優良法人」の申請をすることで、日本健康会議より認定されます。

【宣言して取り組みます】

「健康企業宣言」については当健保組合までお問い合わせください。お問い合わせ:011-633-8353
また、「健康経営優良法人制度」の詳細や申請方法については、経済産業省のホームページをご確認ください。

- ✔ 健診を100%受診します。
- ✔ 健診結果の活用をします。
- ✔ 健康づくり環境を整えます。
- ✔ 「食」に取り組みます。
- ✔ 「運動」に取り組みます。
- ✔ 「禁煙」に取り組みます。
- ✔ 「心の健康」に取り組みます。

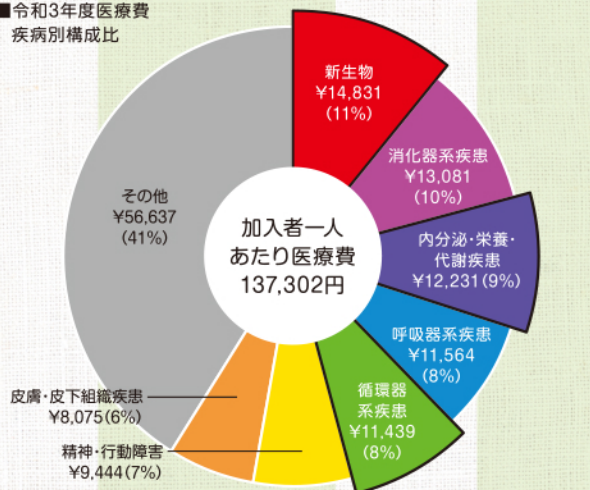
今年度新たに「健康企業宣言」をした事業所のご紹介!

- 株式会社シイエヌエス北海道(2022年6月)
- 株式会社HBA(2022年7月)



北海道コンピュータ関連産業健康保険組合 令和3年度疾病統計にみる医療費の動向

令和3年度医療費
疾病別構成比



- 呼吸器系疾患:かぜ、ぜんそくなど ●新生物:がんなど ●消化器系疾患:胃炎、腸炎など
- 循環器系疾患:高血圧、心疾患、脳血管疾患など ●内分泌・栄養・代謝疾患:糖尿病など
- 筋骨格系・結合組織疾患:関節炎、腰痛症など ●精神・行動障害:うつ病や統合失調症など

当健康保険組合の令和3年度の医療費は、加入者一人あたり137,302円でコロナ禍による受診控えの反動などが影響し前年比+10.7%でした。このうち内分泌・栄養・代謝疾患は12,231円で前年比+8.2%と増加しています。疾病構造別ではがんなどの「新生物」がトップでほかに「内分泌・栄養・代謝疾患」、「循環器系」など生活習慣病にかかる医療費の割合は全体の28%を占めています。生活習慣病は初期段階では症状が現れず、重症化してから発見されることが多いといわれていますので、疾病の予防と早期発見に努めるためにも人間ドック等の健診は必ず年に1回受けることが大切です。

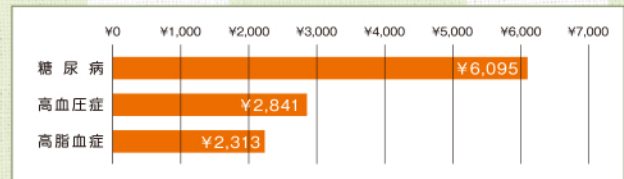
また、メンタル疾患の医療費が多いことも当健康保険組合の特徴です。無料相談やカウンセリング(P8参照)を実施していますのでご活用ください。

【新生物(がん等)の一人あたり医療費上位】



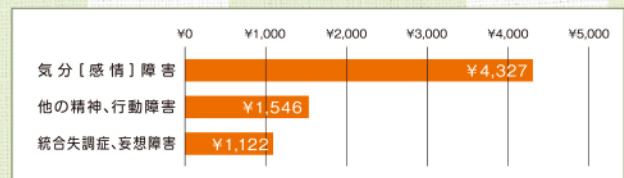
上位より消化器(胃、大腸など)、乳房、女性生殖器(子宮など)の順となっており、乳房は前年比+11.5%増加しました。消化器においては40歳から、乳房、子宮などは30~59歳が増加しています。

【生活習慣病の一人あたり医療費上位】



糖尿病は前年比+20.5%と大幅に増加しました。いずれも40歳から年齢を重ねることに増加しています。

【メンタル疾患の一人あたり医療費上位】



気分障害(うつ病など)は前年比-0.25%減少しましたが、特に30歳代前半の増加が目立っています。